

---

# 朋友だより

---

今年初めての朋友だよりをお届けします。

相変わらず、新型コロナが猛威を振るっていますが、ワクチンの普及も始まり、そろそろ終息の日が待たれるこの頃です。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

2021年2月

(有)コンサルタント朋友  
代表取締役 奥長弘三



## 21世紀のうれしい展開



### 核兵器禁止条約の発効

今年1月22日に、核兵器禁止条約が発効となりました。第二次世界大戦が終了してから、今年で75年になります。この75年間、広島や長崎の被爆者の方々が、声を上げ続けてきたことが、やっと世界の声となり、核兵器禁止条約として力を発揮することになったのです。まさに感慨無量といった気持ちです。

そしてこの条約が、国連で採択された時の状況は、21世紀の世界情勢を反映する形で大変印象的なものでした。議長を務めたのは、カリブ海に面した小国コスタリカの外交官ホワイト女史でした。大国中心主義の時代であった20世紀には考えられないことです。人類の歴史の大きな歩みの反映とあって良いでしょう。

条約の意義を考えてみます。

原爆投下による悲惨な状況は人道に反します。私はずっと以前に見た赤木夫妻の「原爆の図」を見たときの衝撃は、今でも鮮明に思い出します。

一片の条約で、本当に核兵器を無くすことができるかと疑問の声も聞かれます。しかし人類は今までに、クラスター爆弾、対人地雷、生物兵器などは違法なものとし、使用や製造が制限され、やがて廃絶へと進んできた歴史を持っています。

核兵器についても、今回の条約が発効になったのを契機に近い将来、世界から核兵器が完全に無くなるのが期待できます。

しかし、今年1月の条約発効を前にして、アメリカは公然たる妨害工作を行いました。昨年10月にアメリカ政府は、条約を批准した各国に批准を取り下げるよう求める書簡を送りました。また同時に、より広い国々に向けて、核兵器禁止条約に反対することを呼びかける文書を送ったのです。（「前衛」2021年2月号P.67-79）

このようなアメリカ政府の妨害にも関わらず、条約は51カ国の批准を得て、今年1月に発効しました。なお、アメリカ政府の書簡を読ん

で撤回した批准国はゼロとのことでした。

日本政府の態度はいつも、「唯一の戦争被爆国」、「核兵器の究極的な廃絶」を売り物にしながら、アメリカの「核の傘」にしがみつき、核兵器禁止条約の批准を拒否しています。唯一の被爆国の政府として、あるまじき態度と言わざるを得ません。

国連の場では、これまでNPT（核不拡散条約）再検討会議において、核兵器禁止について討議されてきました。その過程において核保有国も、核兵器廃絶の努力を何度にもわたって、合意せざるを得ませんでした。

そして、次のNPT再検討会議が、今年8月に開催されます。この再検討会議で、核兵器保有国にとっても、これまで受け入れてきた合意の履行が問われることとなります。私達としても、今年8月のNPT再検討会議の討論に注目したいと思います。

核兵器廃絶の問題で、日本政府の取る態度は世界の注目のまです。地球温暖化、格差の拡大、新型コロナの問題等で今、世界の人達が、分断と対立を乗り越えて、共同へと立ち上がりはじめています。核兵器禁止条約に参加する日本政府が生まれれば、核兵器のない世界の実現に大きな力となることは間違いないでしょう。

### 資本主義を乗り越える

コロナ禍が新自由主義の弊害を明らかにしました。保健所の減少も新自由主義的施策の結果です。1990年には全国で850ヶ所だったものが、2019年には、472ヶ所に激減しています。

日本では、世界的に見て、新型コロナの感染者数が圧倒的に少ないにも関わらず、医療関係者から、医療の崩壊も心配する声が上がっています。

新自由主義については、朋友だよりNo.166

(2020.10.25 発行)でも述べました。すべてを市場原理にゆだね、あらゆる規制を取り払い、資本の目先の利潤を最大化し、社会保障はじめ公的サービスを切捨て、自己責任を押し付けるものです。これが社会全体を弱いものにしてしまいました。

そろそろ、資本主義社会の寿命がきたと考えるのが自然でしょう。人類の歴史は進化しています。いつまでも同じ段階に留まっているではありません。

原始社会⇨農耕社会⇨封建社会(武家社会)⇨資本主義社会⇨社会主義・共産主義社会

資本主義の総本山のアメリカにおいて、若者達の間で、資本主義社会の次のステップとして、社会主義を望む人達が増えていることは、2~3 年前から報道されるようになってきました。これなども、時代は大きく前に進みつつある現象ととらえて良いでしょう。

人類が資本主義を乗り越えて、次の段階へと進むのは、歴史発展の必然です。

ごく最近発生したミャンマーでの軍部によるクーデター、これが今後どのように展開するか予断を許しません。しかし 20 世紀とちがい、21 世紀において生じていることに留意することが肝要でしょう。全世界が注目をしています。下手なことをすれば軍政権が、全世界からそっぽを向かれることは間違いありません。単なる国内問題とは決して言えないのです。ここに 21 世紀社会のすばらしい到達点があります。

「競争による分断」の 20 世紀から、「お互いに力を合わせて共同」する 21 世紀社会へと発展してきました。世界には、この「共同する力」がありますから、現在猛威を振るっている新型コロナもいずれ終息すると安心して見守ることができます。

## 中国・旧ソ連とは違う社会を目指す

現在、日本において社会主義社会、共産主義社会というと、現在の中国やかつてのソ連を連想する人がかなりいます。それだけ中国や旧ソ連の人権を無視した独裁社会のマイナメージが広まっているのです。

本来の社会主義社会、共産主義社会は全く違います。社会のすべての構成員の人格と人権が尊重され、各自の持っている能力(潜在的能力も含め)がフルに発揮される社会です。

何故、中国や旧ソ連で、そのような社会が実現できなかったのでしょうか。それは両国の歴史的発展の制約があったからです。前述の如く、社会主義社会・共産主義社会の前段階として、資本主義社会が存在します。この資本主義社会において、自由、民主主義、人格の尊重、個性などが発展するのです。

ところが、中国や旧ソ連などでは、資本主義が十分に成熟する前に革命が行われたため、資本主義社会で発展すべき事項が未発展のまま、次の社会に進んでしまいました。その為、人権の無視や独裁が大手を振るって存在する社会となってしまったのです。

その点、私達の日本では、資本主義が十分に成熟したおかげで、個人の人格の尊重、自由、民主主義、立憲主義などの概念は十分に定着しています。

このような日本において、現在進行している「市民と野党の共闘」が一段と発展して、年内に必ず実施される総選挙において、勝利することになれば、日本の歴史はまた一歩、大きく前進します。

前述の核兵器禁止条約への批准も実現し、世界から核兵器を無くすことに大きく貢献できることになります。

期待が膨らむ、21 世紀といえるでしょう。



## 岩上商事株式会社

(東京都江東区: 代表取締役 岩上 浩之 氏)

1940年に会社組織となり、今年で第81期になる老舗の化学工業薬品を扱う商社です。企業紹介欄への登場は2回目です。(前回は朋友だより№137(2015.12.25)です)

現在の岩上浩之氏は四代目社長です。社長を引き継いで13年になります。近年になってやっと、社長としての肚が決まったと言います。

昨年から今年にかけて、エタノール除菌剤が爆発的に売れました。コロナ禍のお陰で近年に珍しいヒット商品となりました。

基礎化学品(原料)が、同社の最も得意とするものですが、包装資材や空調用洗浄剤などエンドユーザー向けの商品も扱っています。エタノール除菌剤もこの一種で、昔から取り扱っている商品です。

岩上社長の姿勢は、商売として継続しない瞬間的商売には手を出さず、手堅い経営を追求する方針です。

同社の今期のテーマは「お客様に求められる存在になる」です。

今こそ、経営理念にある「豊かな発想」が求められる時代です。同社の一層の発展が望まれます。

## 経営理念

「社員第一主義」と「利他の追求」を共にし、

心・技 共に成長し、豊かな発想で挑戦し続けます。

お問い合わせ : 岩上商事株式会社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1丁目8番9号

TEL. 03-3681-5255 (代) FAX. 03-3681-9220

<http://www.iwakami-kk.co.jp/>

～\*～\*～ あとがき ～\*～

朋友だより168号をお届けいたします

医療従事者等のワクチンの先行接種が始まりました。本日(2/21)現在約5,000余人が接種し、副反応が2例報告されたそうです。安全性、有効性が実証されればコロナ禍の長い長いトンネルの先の光かとも思えます。今年は新年度に当たって何の計画を立てるにしても感染収束の目途が立たないのでスケジュールを埋めることが出来ません。どのような状態になれば行動制限が緩和されるのか。新規感染者が現在、緊急事態宣言中であるのに下げ止まりになっている状況です。オリンピックの開催の可否も指標の一つだと思います。「The situation is **under control**」(状況はコントロール下にある)＝オリンピック招致の最終プレゼンテーションにおけるIOC総会における安倍首相(当時)のスピーチです。これは福島の震災後の原発事故の状況の説明でした。今回、ワクチンが必要とされる人々に、世界中の人々に本当に行き渡るのか、課題を抱えてのワクチン接種・スタートです。(野上)



# 朋友

有限会社 コンサルタント朋友

〒174-0064 東京都板橋区中台1-35-10

TEL. 090-4439-4550 FAX. 03-3935-3510

e-mail [foryou91@tokyo.email.ne.jp](mailto:foryou91@tokyo.email.ne.jp)

URL:<http://www.consultant-hoyu.co.jp>